

紹介

令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会開催代替オンラインセミナー

「時代のニーズに応じる獣医療を目指して」開催される

令和3年1月に神戸国際会議場での開催を予定していた令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会は、わが国における新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い残念ながら開催を中止しましたが、令和3年2月20日から4月3日までの6日間の土曜日の間、本大会の開催代替企画として「令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会オンラインセミナー 時代のニーズに応じる獣医療を目指して」を以下のとおり開催しました。

なお、セミナーの内容については、本会HPにおいて4月から順次配信予定です（配信を行わない講演もありますので、あらかじめご了承ください）。

開催方法：Webによる動画配信
後 援：農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省

No.	開催期日	開催内容	視聴者数
1	2月20日(土) 13:00～16:15	<p>日本獣医師会企画オンラインセミナー 日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム 「with コロナ下におけるペットとの付き合い方 —正しく知ろう、動物と人の新型コロナウイルス感染症—」</p> <p>(1) 人の新型コロナウイルス感染症の最前線 松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座 主任教授）</p> <p>(2) 動物の新型コロナウイルス感染症の多様性 前田 健（国立感染症研究所 獣医科学部長）</p> <p>(3) ペットと暮らす —人とペットのコロナ対策— ① 東京都獣医師会の取組み 中川清志（公社東京都獣医師会 副会長） ② 陽性者の飼育動物のケア —企業の取組— 河本光祐（アニコム先進医療研究所㈱ 代表取締役社長）</p> <p>(4) 総合討論 〔座長〕佐藤れえ子（公社日本獣医師会理事、岩手大学名誉教授） 丸山総一（日本獣医公衆衛生学会会長、日本大学教授）</p>	482名
2	2月27日(土) 13:00～17:15	<p>日本産業動物獣医学会企画オンラインセミナー シンポジウム「わが国におけるCSF（豚熱）対策の現状と問題点」</p> <p>(1) 豚熱をめぐる情勢と今後の対応 金子明誉（農林水産省消費・安全局動物衛生課 家畜衛生専門官）</p> <p>(2) 岐阜県における豚熱対策の取組みについて ～野生いのしし対策の現状と今後の対応～ 田村康則（岐阜県農政部家畜伝染病対策課 野生いのしし対策室長）</p> <p>(3) 沖縄県での豚熱発生について 仲村 敏（公財沖縄県畜産振興公社 専務理事）</p> <p>(4) 現場からみた豚熱を考える 伊藤 貢（南あかばね動物クリニック 取締役）</p> <p>(5) 豚熱の最近の感染事例と野生イノシシの感染状況 山本健久（農研機構動物衛生研究部門ウイルス・疫学研究領域疫学ユニット長）</p> <p>(6) 総合討論 〔座長〕佐藤真澄（日本産業動物獣医学会副会長）</p>	227名

No.	開催期日	開催内容	視聴者数
3	3月6日(土) 13:00～16:00	<p>日本獣医師会・日本野生動物医学会合同企画オンラインセミナー 「保全医学の視点と野生動物における感染症の現状」</p> <p>共催：日本野生動物医学会 〔コーディネーター〕</p> <p>森光由樹（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授） 鈴木正嗣（岐阜大学応用生物科学部教授）</p> <p>(1) 新型コロナから学ぶ One Health の意義と課題 五箇公一（国立環境研究所生物・生態系環境研究センター生態リスク評価・対策研究室室長）</p> <p>(2) 豚熱（CSF）イノシシの発生状況と課題 蒔田公平（酪農学園大学獣医学ユニット 教授）</p> <p>(3) 野鳥における高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）発生の現状 山口剛士（鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター 教授）</p> <p>(4) コロナウイルスと野生動物 前田 健（国立感染症研究所 獣医科学部長）</p> <p>(5) 総合討論 〔座長〕 森光由樹（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授） 鈴木正嗣（岐阜大学応用生物科学部教授）</p>	351名
4	3月13日(土) 13:00～16:00	<p>日本小動物獣医学会企画オンラインセミナー</p> <p>教育講演「犬猫における消化器の超音波検査 ～消化管を中心に～」 横山 望（北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院 特任助教）</p> <p>教育講演「犬猫における消化器の X 線検査」 新坊弦也（北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院 特任助教）</p>	232名
5	3月20日(土) 13:00～15:30	<p>日本獣医公衆衛生学会企画オンラインセミナー 「新型コロナウイルス感染症流行下における獣医公衆衛生の役割」</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に関して獣医師が果たす役割 梅田浩史（厚生労働省健康局結核感染症課 感染症情報管理官）</p> <p>(2) 2020年（コロナ禍）の東京都内における食中毒発生状況 赤瀬 悟（東京都健康安全研究センター微生物部 主任研究員）</p> <p>教育講演「世界と我が国の結核の現状」 鈴木定彦（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター センター長）</p>	157名
6	4月3日(土) 13:00～14:45	<p>日本獣医師会企画改正法令オンラインセミナー 「1年後に迫った愛玩動物看護師法の施行に向けて、今、知っておいていただきたいこと」</p> <p>(1) 1年後に迫った愛玩動物看護師法の施行に向けて、今、知っておいていただきたいこと 中元哲也（前 農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 課長補佐） 小高大輔（環境省自然環境局総務課 課長補佐）</p> <p>(2) 愛玩動物看護師法 ～診療補助業務の範囲と獣医師・獣医師会における今後の取組についての検討 境 政人（公社日本獣医師会 副会長兼専務理事）</p>	180名